

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	衣料品専門店 （経営者）	販売量の動き	・2月は営業日数が少なかったが、1月に引き続き販売量は堅調に推移し、来客数も増加している。売上の内訳は冬物と春物が半々となっている。
		家電量販店（店 長）	来客数の動き	・3か月前と比べると客単価は低下したが、来客数が増えたため売上高は増加している。
	やや良く なっている	商店街（代表 者）	販売量の動き	・バレンタインのプレゼント用チョコレートの販売状況を見ると、昨年に比べ購入単価は上がらなかったが、1人当たりの買上数がかかなり増えた。
		一般小売店〔書 籍〕（営業担 当）	お客様の様子	・衝動買いはまだあまり多くはないが、以前ならあきらめていた消費者の気持ちが徐々に購買に結び付いているように見受けられる。
		乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・高額車の商談も多くなってきた。
		旅行代理店（従 業員）	来客数の動き	・海外旅行は津波の影響で、韓国以外は全般的に低調に推移している。一方、国内旅行は受験生用の東京へのホテルパック商品の需要が、ますます順調であることに加え、4月以降の団体旅行、家族旅行などの引き合いも多くなっている。
		通信会社（営業 担当）	販売量の動き	・新商品等の投入により好調な販売状況が続き、人気商品は品薄状態となっている。
	変わらない	商店街（代表 者）	それ以外	・地域の核である大手スーパーの撤退が大きな不安材料になっている。消費面からみたマイナス材料以上に、町のイメージダウンと、生活者としての不便さに大きな不安を感じる。
			百貨店（総務担 当）	お客様の様子
		百貨店（営業担 当）	それ以外	・前年同月と比較して、来客数及び売上高ともに前年割れとなった。その内訳は、ブランド商品群は若干の増、催事の関連で美術品も大きく増加したが、ファッション関連全般、ギフト関連などが総じて前年割れとなり、厳しい結果となった。
		スーパー（店 長）	販売量の動き	・昨年、BSEと鳥インフルエンザの影響で不振だった精肉は、ますます順調に回復しているが、それ以外は良くなってきている様子はない。
		スーパー（店 長）	来客数の動き	・来客数は若干増えてきているが、必要な物だけ買うという傾向は変わらず、客単価が上昇しない。まだまだ景気が上向いているといった状況ではない。
		スーパー（企画 担当）	単価の動き	・2月1日、2日の雪の影響があり、客数、客単価とも前年の3%減となった。売上は、衣服類は前年比10%減少し、生鮮食料品も肉・青果が5%、魚が10%の減少と振るわず、加工食品も菓子を除き5%減少した。
		コンビニ（店 長）	販売量の動き	・月販売量は前年比でやや回復傾向にあるが、季節商品の反応が鈍く、年間を通して見ると、今月の売上額は低調である。
コンビニ（店 長）		単価の動き	・来客数はますますであるが、単価のほうがもう1つ伸びていない。バレンタイン商品も値段の安い商品から売れて、一番高い商品はほとんど残っており、厳しい状況が見受けられる。	
衣料品専門店 （経営者）		お客様の様子	・冬物セールスは前半は盛り上がったが、中盤以降、急速に落ち込んだ。バーゲンで値段が下がっても、本当に自分の欲しい物しか購入せず、相変わらず単品買いが多い。こちらのおすすりにも反応が鈍く、セット率上昇につながらない。	
乗用車販売店 （従業員）	お客様の様子	・強力なライバル社の大型車種が発売開始されたため、客の動きが活発になった。しかし、競合が激しく販売量自体の増加にはつながらない。		

	その他専門店 〔CD〕(店員)	お客様の様子	・商品の購入選択基準がよりシビアになってきている。価格に対して、価値があるかといったところを慎重に選んでいる。
	ゴルフ場(従業員)	来客数の動き	・通常2月は閑散時期であるが、予約状況にそれほどの落ち込みがなく、週末の来場者もある程度確保できた。
	その他住宅〔不動産〕(経営者)	お客様の様子	・2月は例年どおり低調で、顕著な変化はみられない。
やや悪くなっている	百貨店(売場主任)	来客数の動き	・2月は季節の端境期で冬物の処分を行っているが、来客数が非常に少ない。
	スーパー(店長)	単価の動き	・同一商品であれば、安い商品が売れる傾向が強まっている。例えば、合い挽きミンチであれば、客は単価の安い豚の比率の多い商品を買う傾向にある。このような傾向から単価が低くなっている。
	スーパー(財務担当)	販売量の動き	・既存店売上高の昨年比を3か月前と比べると、102.9%が101.6%と1.3ポイント悪くなっている。
	その他飲食〔ファーストフード〕(経営者)	お客様の様子	・購入単価が低下し、来店頻度も低下している。
	住宅販売会社(従業員)	販売量の動き	・土地の購入から住宅建設を検討している客の場合は、予算が厳しく具体的な商談まで進まないケースがある。
悪くなっている	タクシー運転手	単価の動き	・単価の下落や客数の減少により1日の売上は、3か月前と比較して5,000円下落している。
企業動向関連	食料品製造業(従業員)	受注量や販売量の動き	・新商品が出て、その販売が好調に推移していることから、全体の販売増につながっている。
	一般機械器具製造業(経理担当)	取引先の様子	・増築の受注が好調で、決算調整の受注もあった。
	電気機械器具製造業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・年度末を迎え、既存の客に加えて、最近、デフレの影響から生産を中国から国内へ戻しているローテクメーカーの仕事が増えてきており、大変忙しくなった。
	通信業(支店長)	受注量や販売量の動き	・第三世代携帯電話の販売比率が高くなっている。通信料の低下現象に歯止めが掛かり、若干上向きになっている。
	通信業(営業担当)	それ以外	・取引先の量販店、スーパー等の経営層から、景気が明るくなってきたとか、季節商品以外の個人商品も伸びているといった話をよく聞くようになった。
変わらない	繊維工業(経営者)	取引先の様子	・百貨店での店頭販売は非常に厳しい状況が続いている。まだまだ業界の回復は先という感じがする。
	木材木製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・年初の新規拡販の効果で順調に推移しているが、市場全体では売上は低下している。
	パルプ・紙・紙加工品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・ギフト関連の受注はまずまずであるが、一般店向け受注は大変悪い。
	一般機械器具製造業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・トラックに乗せる小型クレーンは、トラック需要が前年比を下回って推移しているため低調である。一方、大型クレーンの総需要は引き続き、前年同月比を上回っており、クレーンの稼働率も高稼働で推移している。機種によって違いがみられるが、総じて順調である。
	広告代理店(経営者)	取引先の様子	・取引先の不動産業から聞いた話によると、今年に入り、割安感のある中古マンションなどは比較的活発であるが、戸建て分譲が苦戦しているようである。
	やや悪くなっている	電気機械器具製造業(経営者)	受注価格や販売価格の動き
建設業(総務担当)		受注価格や販売価格の動き	・公共工事の受注競争が激しく、入札価格の下落が続く、適正な採算価格での落札が難しい。
輸送業(支店長)		受注量や販売量の動き	・日用雑貨、食品等、一般貨物は、一般割れのまま推移している。一方、青果物が回復してきたが、全体の売上をカバーするまでには至っていない。
公認会計士		取引先の様子	・今月の決算法人60社を見ると、前年比で収入が減少している企業が88%を占め、先月よりも一段と悪くなっている。

	悪く なっている	-	-	-
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	-	-	-
	変わらない	職業安定所（職 員）	求人数の動き	・新規求人数は前年に比べ2か月連続して減少した。 今までは1つの職種に対して求人数が5人以上採用する 事業所が多くみられたが、採用人員を削減して求人 申込を行う事業所が増えてきた。
		職業安定所（職 員）	雇用形態の様子	・求人自体はやや増加しているものの、相変わらず、 派遣業、業務請負業の求人が多く、正社員の求人は落 ち込んだ状態が続いている。
	やや悪く なっている	求人情報誌製作 会社（編集者）	採用者数の動き	・即戦力を採用したいというニーズのある企業に対し て営業を行ったが、成果は想像よりも悪かった。
	悪く なっている	-	-	-